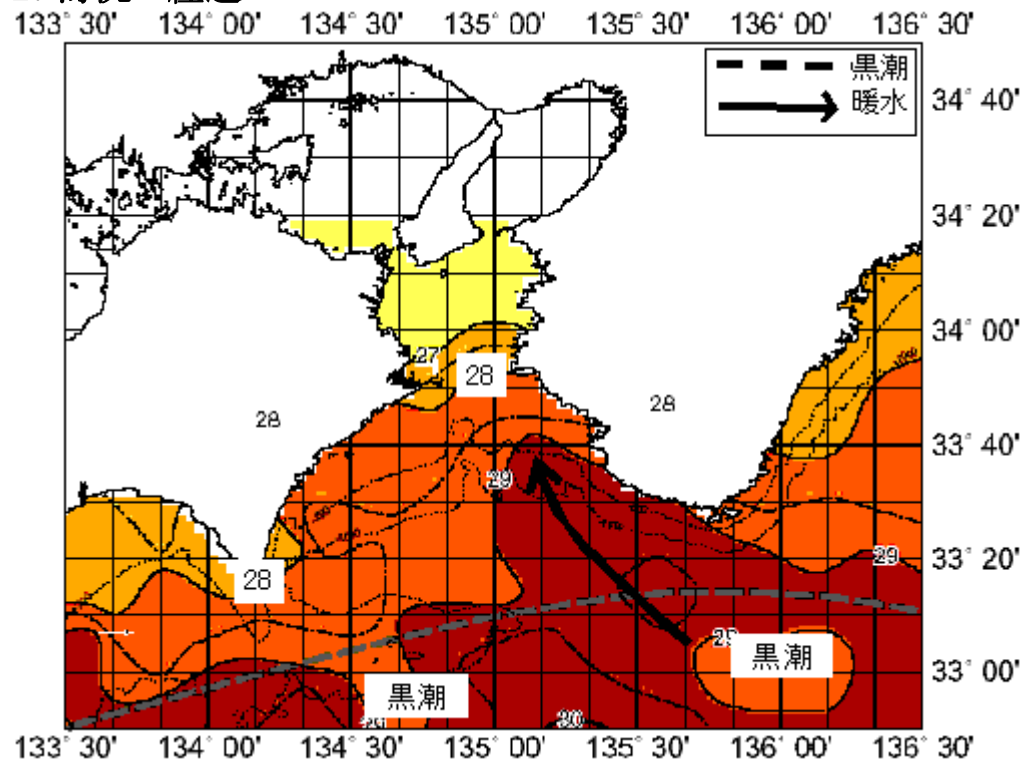


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.08.11)を示した。

黒潮は室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は29～30℃台である。

表面水温は播磨灘が27℃台、紀伊水道内部が27℃台、外域が27～29℃台である。

7月中旬以降、晴天が続き、表層の水温が高い状況が継続している。

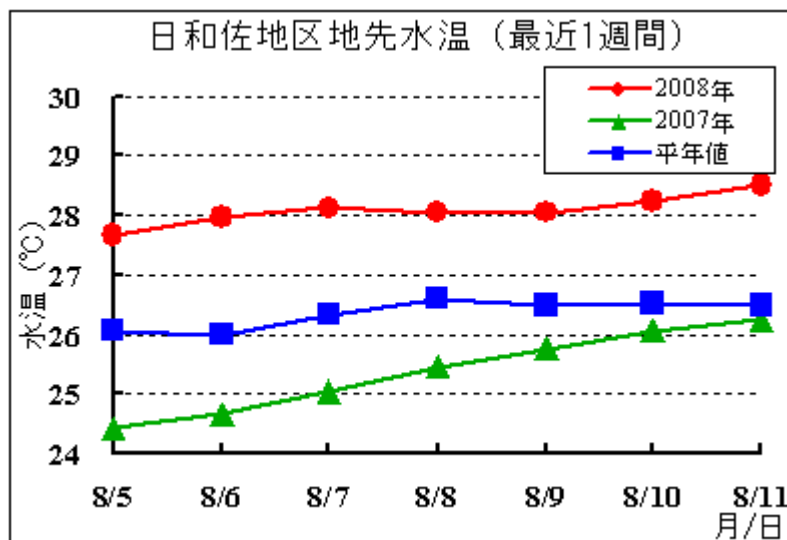
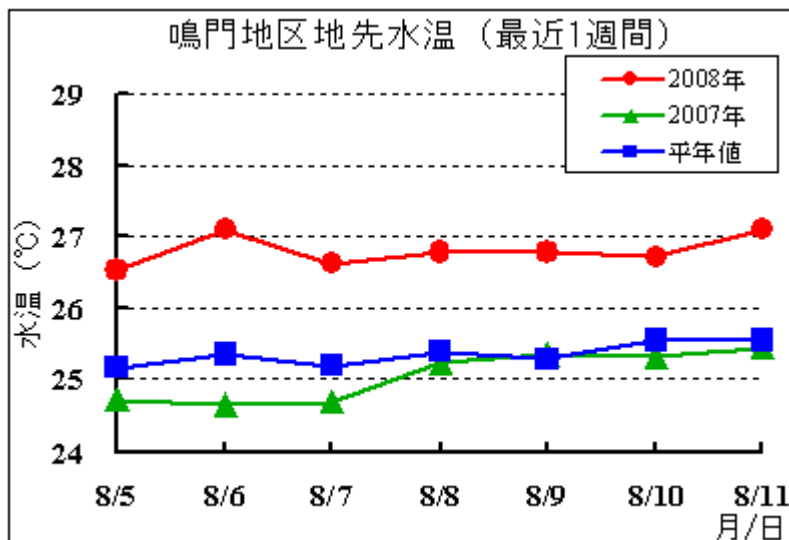
紀伊水道外域においては、和歌山県側から黒潮系暖水が波及している。

漁業調査船「とくしま」が8月5日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層が「高め」の28.1℃、10～30m層が「やや高め」の24.1～25.8℃であった。

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	28.1	25.8	24.8	24.1	今年値	32.1	32.2	32.2	32.3
平年偏差	2.0	1.3	1.1	1.4	平年偏差	0.7	0.6	0.5	0.4
前年偏差	2.3	1.4	1.0	0.7	前年偏差	0.2	0.3	0.3	0.2

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の26.5～27.1℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の27.7～28.5℃、牟岐地区は「高め」の28.2～28.9℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、中・小主体にアカムツが0.2トン(1日1隻当たり21kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、ウルメイワシが0.7トン(同24kg)、小小主体にカマス類が0.3トン(同7kg)、カンパチが0.4トン(同5kg)、小・マメ主体にマアジが2.9トン(同69kg)、マイワシが0.4トン(同19kg)、マルソウダが0.4トン(同13kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にゴマサバが0.3トン(同22kg)、マルソウダが1.8トン(同15kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが42.1トン(同319kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 08月04日～08月10日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	10	207	21	中・小主体
小型定置網		ウルメイワシ	30	727	24	
		カマス類	44	314	7	小小主体
		カンパチ	78	397	5	
		マアジ	42	2,906	69	小・マメ主体
		マイワシ	19	354	19	
		マルソウダ	34	446	13	
		釣り	ゴマサバ	16	347	22
		マルソウダ	117	1,798	15	
パッチ網		紀伊水道	シラス	132	42,075	319

特異事項:

播磨灘・紀伊水道において、ミズクラゲが出現している。

週間予報:

黒潮は、室戸岬及び潮岬で接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「高め」の27℃台、日和佐地先で「高め」の29℃台で推移する見込み。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上